



ステップアップカフェ ファイナルイベント(関連記事は9頁をご覧ください。)

目次・主な内容

■ 新年あいさつ	2	■ 新会員の紹介・れんらく・つうしん	22
■ 三重経協 News	6	■ れんらく・つうしん	23
■ 三重労働局 News	15	■ 業務日誌	24
■ 新年賀詞交換	16		



## 新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 小倉 敏秀

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げますとともに、今年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

昨年は、国内においては、原材料高騰、エネルギー関連コストの上昇、大幅な物価上昇、賃上げによる労務費増、人手不足等企業経営においては、厳しい経営環境となりました。また、10月には総選挙が行われ、与野党の勢力が逆転し、政治は混迷の度を増してきそうな情勢です。海外においては、ロシアのウクライナ侵攻から来月で早3年となり、また、イスラエルとパレスチナの紛争も継続中で、情勢不安の高まりが続いております。また、アメリカも、トランプ大統領が再就任し、今後の世界経済への影響が懸念されています。

本年は、4月からいよいよ大阪・関西万博が開催されます。世界中から多くの方々の来場が見込まれる中、令和になって初めての日本での万博であり、世界に誇る技術をはじめ「日本」を見て頂く絶好の機会であります。好調なインバウンド旅客の来訪により、観光面をはじめ外国人消費の増加に大きなビジネスチャンスが生まれるものと期待できます。

その様な中、現在の日本経済において重要なことは、再びデフレ経済に陥ることのない様、「企業の成長と賃金上昇の好循環」を実現していく事にあります。そのために各企業は知恵を絞って、新しい技術を導入して生産性向上に努めると共に、適切な価格転嫁対策や取引適正化への取組みを一層進めていく必要があります。また、人手不足が深刻度を増していく中、働く人々の更なるエンゲージメント向上を図り、多様な働き方ができる職場環境の整備も引き続き進めていく必要があります。

そして、いよいよ2025年の春季労使交渉を迎えることとなります。昨年の春季労使交渉は、33年ぶりに5%を超える大幅な賃上げが実施され、連合は早くも今年の春季労使交渉の賃上げ目標について、大手は5%以上、中小は6%以上を目指すことを掲げています。とは言え、県内企業の多くは経営基盤が十分とは云えない中小企業であり、支払い能力を超える賃金引上げは企業経営に影響を及ぼ

す大きな問題でもあります。賃金交渉につきましては「賃金決定の大原則」が重要であり、総額人件費管理の下、自社の支払い能力を踏まえたうえで、労働組合との協議を重ね、企業が決定するべきではないかと考えます。

政府は昨年11月26日の政労使会議において、最低賃金を2020年代に全国平均1,500円に引き上げる、という高い目標を掲げており、経団連としましては、「チャレンジな目標を掲げて最低賃金を引き上げていくことは非常に重要であるが、達成不可能な目標を掲げて進めていく事になってはいけません。関係者間でよく意見交換し、結果として早期引き上げが可能となるような環境整備を政府において進めていってほしい。」との見解を示しています。

大幅に引き上げた場合に、その影響を強く受けるのは、地域経済を担っている多くの中小企業であり、様々な声を十分踏まえた丁寧な議論も望まれ、今後の推移を見守りたいと考えております。

また、本年4月には、高齢者雇用安定法の経過措置終了となり、65歳までの雇用確保の完全適用等が改正されます。育児介護休業法改正では、残業免除の対象範囲拡大、子の看護等休暇の拡大、育児休業取得状況の公表の義務化(300人超)や、10月からは、働き方の柔軟化措置および個別の周知・意向確認義務の新設、妊娠・出産の申し出に対する、仕事と育児の両立に関する意向聴取・配慮が義務化となります。制度変更に伴い、社内規程・体制の見直しも必要です。これらの改正は、少子高齢化が深刻な問題となっている中、労働力人口は今後もますます減少し続けるものと予想されますので、労働者が育児・介護を行いつつ仕事を行うといった、柔軟な働き方を実現する為に必要となるものです。会員企業の皆様におかれましては、それぞれの事項について対応をお願いいたします。

当協会としましては、セミナーの開催や会報誌、メール配信等を通じて最新事例や情報提供などに努めてまいります。

結びに、本年も非常に変化の激しい年となりそうですが、干支である巳は脱皮を繰り返すことより、「復活と再生」を意味し、新しい事が始まる年といわれています。本年が会員企業の皆様にとって明るく輝かしい年になるようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



—経団連会長新年メッセージ—

**公正・公平で持続可能な社会を目指して**

一般社団法人 日本経済団体連合会  
会長 十倉 雅和

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

はじめに、昨年、能登半島における元日の地震ならびに9月の記録的豪雨により亡くなられた方々に心から哀悼の誠をささげるとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。昨年4月、そして11月に経団連幹部と共に被災地を訪問し、能登の復旧・復興への思いを新たにしました。被災された方々に寄り添った支援に引き続き取り組んでまいります。

さて、日本経済は、約30年ぶりの高水準の賃金引上げや100兆円を超える設備投資に支えられ、GDP600兆円突破に象徴されるように成長への着実な歩みを進めている。この機を逃さず官民の連携をこれまで以上に強化し、「成長と分配の好循環」の継続に取り組んでいく。

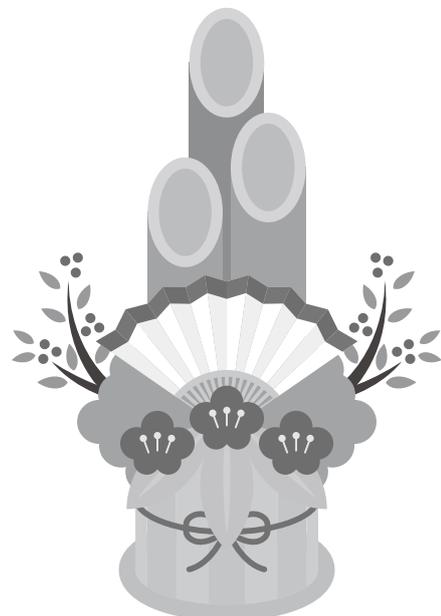
成長には、イノベーション創出や地方経済の活性化はもちろん、グリーントランスフォーメーション（GX）推進が欠かせない。そのためにGX推進の基盤となる安価なエネルギーの安定供給の確保が待ったなしの課題である。再生可能エネルギーを最大限活用しつつ、既存原発の再稼働に加えて高速炉、高温ガス炉、核融合等次世代革新炉の開発を含めた核エネルギーの利活用が急務である。同時にバックエンドの問題にも取り組む必要がある。

分配には、賃金引上げのモメンタムの維持・強化に向けて、2023年を「起点」の年、2024年を「加速」の年と位置付け、2025年はこの流れを「定着」させる年にしていきたい。賃金引上げを消費につなげるには国民が抱える将来不安の払拭が必要であり、そのためには、給付と負担の将来見通しを踏まえ、全世代型社会保障の構築を進め、ひいては税と社会保障の一体改革が求められる。

昨年から続く混とんとした時代を迎える中、わが国が進むべき道について中長期ビジョンが求められていると考え、今般「FUTURE DESIGN 2040」を策定した。わが国は、「人口減少・少子高齢化」と「資源を持たない島国」という二つの克服すべき大きな課題に直面している。こうした中、わが国は「科学技術立国」「貿易・投資立国」を目指す。そして、その基盤となるのが公正・公平で持続可能な社会と考える。この実現に向けて、先ほど申し上げた全世代型社会保障や環境エネルギーなど六つの施策を提案した。

4月にはいよいよ大阪・関西万博が開幕する。ぜひとも多くの皆さまに足を運んでいただきたい。

就任以来一貫して掲げてきた「社会性の視座」のもと、「成長と分配の好循環」の実現に向けて精力的に取り組んでいく。皆さまのご理解と一層のご支援をお願い申し上げます。





## 新年のご挨拶

三重県知事 一見 勝之

令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

三重県経営者協会におかれましては、「人材こそが企業の発展の根源」という理念のもと、活力ある地域経済社会の実現、企業の相互発展のために、三重県の総合経済団体として企業経営、人事労務の諸問題の解決に積極的に取り組まれてみますことに、深く敬意を表します。

世界では、ロシアによるウクライナ侵略の長期化やイスラエルとハマスの武力衝突の戦火がイラン、レバノンに拡大したことに加え、アメリカでは、「アメリカファースト」を掲げるトランプ氏の施策が日本にどのような影響を与えるのか慎重に見極めていく必要があります。

こうした不安定な世界情勢や長引く円安の影響により、国際的な原材料価格やエネルギー等の価格の上昇が続く中、企業の皆様におかれましては、賃上げをはじめとして、事業継続や雇用確保にご尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

雇用面においては、少子高齢化の進展に伴い、今後長期にわたり生産年齢人口が減少していく見通しの中、約7割の中小企業・小規模企業で採用計画に影響が出ており、労働力不足への対応が喫緊の課題となっています。

こうした国家的課題に対応するため、国において人口減少対策の司令塔となる組織を設置するよう全国知事会を通じて提案しているところです。また、「三重県人口減少対策方針」に基づいた、自然減対策と社会減対策の取組に加え、令和6年4月に庁内の人材確保対策を総括する部署を新設し、令和7年3月に「人材確保対策推進方針（仮称）」を策定する予定です。当該推進方針を議論する「人口減少

対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会」においては、貴協会にも参画いただき、現場の実情や課題に対する考え方などさまざまな観点から貴重なご意見をいただいているところです。

また、企業と特別支援学校等をつなぐ障がい者雇用に関する情報交流会への協力や、「三重労使雇用支援機構」の構成組織として、県総合文化センター内に設置していたステップアップカフェへの長年のご支援など、障がい者雇用の推進への多大なる貢献に、重ねて感謝申し上げます。

県としましては、労働力不足の緩和や人材確保に向けて、企業トップやリーダー層への意識啓発や、正規雇用を希望する女性のニーズに合わせた就職支援、出産・育児・介護にかかわらずキャリアを継続できる職場環境整備などの取組により、ジェンダーギャップの解消を進めてまいります。加えて、外国人、高齢者など多様な人材の就労支援、働き方の見直しによる生産性向上、デジタル技術を活用した業務効率化、人材育成など、引き続き、多方面にわたって人材確保対策を講じてまいります。

さらに、近年社会問題化しているカスタマーハラスメントについても、働く意欲のある全ての人が、やりがいを持っていきいきと働き続けることができるよう、貴協会からもご意見をいただきながら条例制定をはじめとした実効性のある対策の検討を進めてまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、今後とも変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、三重県経営者協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

三重労働局

局長 石田 聡

三重県経営者協会の会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、三重労働局の行政運営にあたり、格別のご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

昨年は、賃金の引上げに向けた環境整備が重要な行政課題の1つとなっていました。令和6年度の地域別最低賃金の改定額は全国過重平均額で1,055円、上昇額が51円となる中、三重県の最低賃金についても、令和6年10月1日から50円引き上げられ、時間額1,023円に改定されております。最低賃金の上昇は全国的に拡大・継続していますが、一方では、ここところの急激な物価上昇に対して追いついていない現状もあります。

賃金の上昇が物価の上昇を安定的に上回るためには、企業が生産性を向上し、価格転嫁を行いやすくする環境整備や省力化・デジタル化の推進、人への投資の促進及び多様な人材が安心して働ける環境の整備などを効果的かつ実効的に実施することが重要です。

我が国においては、少子高齢化により生産年齢人口等が減少しています。あらゆる業種で人手を確保することが困難な状況が継続していますが、特に中小企業・小規模事業者において人手不足感が強い傾向にあります。人材確保対策として、リ・スキリングによって習得したスキルや知識を生産性向上に活かして業務効率化や省力化を図ることや、成長分野や人手不足分野への労働移動を円滑にするためにマッチングを進めることが求められています。

また、高齢者、障害者等の多様な人材がそれぞれの意欲や能力に応じた就労環境を選択し、活

躍するためには、長時間労働の抑制や多様な働き方の推進等、安全で健康に働くことができる環境整備も重要な要素になります。

三重労働局は、これらの課題に対し、地域における総合行政機関として、労使団体等と連携を密にしながら、県内の労働基準監督署及び公共職業安定所と一体となって地域の実情に応じた施策を推進してまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴会並びに会員の皆さま方の益々のご発展とご健勝・ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 10月度理事会

10月25日（金）プラザ洞津「末広の間」において、理事会並びに特別講演会を開催しました。当日は、理事会28名、特別講演39名の参加者がありました。



挨拶する小倉会長

### 1. 開会【会長挨拶】

本日は大変ご多用のところ多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素から当協会の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜っておりますことを、厚くお礼申し上げます。

最新ニュースで9月に発生しました、能登半島豪雨が激甚災害に指定されました。今年1月に発生した地震も激甚災害に指定されており、年2回も激甚災害が起り二重に災害にあわれました被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。また、我々の地域においては、今夏「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、緊張度が高まりました。日頃の備えが一層必要であり、改めてそれぞれ事業所におけるBCPの強化・見直しが必要であると感じる今日この頃であります。

そして、突然の衆議院解散に伴う総選挙もいよいよ明後日に迫ってまいりました。どの政党が改めて支持されるのかで、今後の政局にも大きな影響を及ぼすのではないかと思います。加えて11月にはアメリカ大統領選挙もあり、政局の方は予断を許さない状況にあります。

現下の国内の経済情勢は、9月に発表された内閣府の月例経済報告では、景気の基調判断を「一部に足踏みが残るものの緩やかに回復している」という判断が維持されています。

今春の労使交渉を経て、今年には多くの企業で大幅な賃上げが実現しましたが、一方で8月の実質賃金が3か月ぶりにマイナスに転じたことが報じられるなど、相変わらず物価高に賃金上昇が追いついていない状況であります。

今度の総選挙でも、主な政党は最低賃金について5年間で1,055円を1,500円に引き上げると公約に掲げております。また、連合は早くも来年2025年の春季労使交渉の賃上げ目標について、今年同様「5%以上」とする方針を打ち出し、さらに中小に対しては「6%以上」を目指すことを掲げています。

経済も「企業の成長と賃金上昇の好循環」が回り始めてきているところなので、引き続き我々も頑張っていきたいと思えます。

そのためには私たち各企業は生産性向上に努める一方、適切な価格転嫁対策や取引適正化への取り組みを一層進めていくことが大切です。

今年2月には、労使で「パートナーシップ構築宣言」への参画拡大と実効性確保に向けた取り組みの共同宣言を行いました。

昨年、政府が策定した「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を広く周知し、働き方を含めた取引条件の改善・適正な価格転嫁が実現するよう取り組んでいきたいと考えています。

そして人手不足が深刻度を増していく中、社員の皆さん誰もが働き甲斐を感じ、それぞれのライフステージや価値観に応じて、多様な働き方ができる職場環境の整備も実現していくことが重要なことです。

経営者協会も様々な情報提供等を含め、皆さんとともに考え、お役に立てるよう努めてまいりたいと思えます。

本日の理事会では、これまでの事業の進捗と予算の執行状況・役員人事についてご報告させていただきます。

理事会終了後に国立大学法人三重大学リカレント教育センター 副センター長で教授の青木雅生様を講師にお招きし、特別講演会を予定しております。



理事会風景

演題として、「人的資本経営時代の企業経営とリカレント教育」についてのご講演をいただきます。技術革新や、それに伴う社会・ビジネス構造の変化に対応するためには、リカレント教育を通じて、日々学び続ける必要があります。皆様のこれからの人財経営に活かす参考にさせていただきたいと思っております。

最後に、いつもお願いしています通り、当協会の基盤強化には会員の拡大が不可欠であります。理事の皆様方には引き続き、新規会員のご推薦やご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。

## 2. 報告事項

### (1) 役員人事等の件

#### ① 理事交代の件

交代日 令和6年6月24日

(退任) カネソウ(株) 取締役相談役 こんどう けんじ 近藤 健治 氏  
 (新任) カネソウ(株) 代表取締役社長 とよだ さとし 豊田 悟志 氏

交代日 令和6年7月1日

(退任) キオクシア(株)四日市工場 常務執行役員四日市工場長 まつした ともひろ 松下 智治 氏  
 (新任) キオクシア(株)四日市工場 四日市工場長 しみず かずひろ 清水 和裕 氏

### (2) 令和6年度事業進捗状況

### (3) 令和6年度予算執行状況

※2.報告事項(1)(2)(3)はいずれも満場一致でご賛同いただきました。

※以上の状況が事務局より報告されました。

## 3. その他・連絡事項

- ①人口減少対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会、公設委員 三重県経営者協会推薦分
- ②三重県労働委員会事務局「労働委員会について」次長兼調整審査課長 林 美知代 氏

以上

## 特別講演会

### 人的資本経営時代の 企業経営とリカレント教育

私たちのリカレント教育センターは2022年に発足した新しい部で、非営利・営利を問わず、産官学民の4者の地域組織作りを特に大切に、地域の企業、官民の団体と共に活動しており、企業内で新規事業の立ち上げに携わる皆様のご苦労もよくわかります。

2013年から有価証券報告書に人材育成と環境整備への取り組みの記載が求められ、世界の状況も温室効果ガスの排出と除去を実質均衡させる「ネットゼロ」に進み、さらに、全世界の総GDPの半分の44兆ドルを占める生物・自然環境を回復する事を企業経営に求める提言がなされています。これらは大企業だけでなく中小企業もその対象となり、製造現場を訪ねると法制化されることが近いと感じますし、県に対してもこの対応をする行動をすべきだと提言しています。さらに政府の骨太の方針では、リスクリングに関し大きく紙面を割き、そこでは従業員だけではなく経営者層の「リスクリング」の必要性

三重大学  
リカレント教育センター  
副センター長・教授  
青木 雅生 氏



講演をする青木教授

を強調し、さらに「リスクリング」を包含する学び直し「リカレント教育」が重要であるとしており、これらの事を踏まえてお話をします。

厳しい70年代の後、バブル景気もすぐ崩壊しその後の長い不況の間に設備投資が1992年の28兆円から17兆円にまで落ち込み、人件費はコストとの見方が進み、株式配当が設備投資や人件費を上回る状況が続きました。

不確実で将来予測が困難な中、過去の技術、ノウハウが陳腐化し人口減少が続いてDXの必要性が増しているのに、ITによる効率化にばかりに目が向きAIに期待が集まりますが、人間だけが持つ意思(will)や体験、価値判断を活用し、日本経済は新しい価値を見つけることが重要です。

高度成長期には作れば売れ、80年代には売れるものを造る時代になり「マーケティング」が重用され、現在は

創造性が重視されます。スティーブ・ジョブスが将来のライフスタイルを想像して、iPhoneを提案し爆発的にヒットさせたのは彼の柔軟な発想から生まれたもので、そのような人材を育て、磨く事に注力しなければ新しい価値を作ることは難しいのです。私は10年程前から企業には「稼ぐ力」より「人を育てる」力が必要と申し上げてきました。「人を育てる」にはその人に「安心して働ける会社」と思って貰うことが重要です。能力を発揮したいと思う人にその場を提供することは「何のために仕事をしているか」という問いと表裏一体でもあります。

世界の人口は2024年に80億人、2050年頃には100億に達し、その先は途上国が先進国化し、減少に転ずると見られ、人口減少の中でも価値を持つビジネスを考える段階にきています。そんな中、地方は働く人、若者を増やすため働きやすい場所と環境を作る事が重要で、「働きやすい会社にする事」は必要条件です。2年前、経産省は「未来人材ビジョン」を公表しその中で「日本の従業員エンゲージメント」は世界最低水準で生産性が低いとし、それは社員がやりがいを持って働いていないからとして、その認識の上での「人材育成」の重要性を強調しています。

現在、企業では社内学習、自己啓発を行っていない社員の割合が多く、その多くは「OJT教育」以外実施しておらず、これは逆に伸びる余地があるとも言えます。しかし「人材育成」は教育だけでは不十分で、教育を受けた人が経営戦略を実現出来るよう、経営戦略のどこにそれをはめ込めるのかを明確にし、学んだことを活かせる部署に配置転換し、新しい仕事を与え、必要ならプロジェクトを立ち上げる事が必要です。

2018年に「働き方改革一括法」が成立し、働き手が集まらない現実からやむを得ない選択と受け取られました。翌年の施行後も若年労働者の退職は減らなかったものの、その理由は変化がありました。それは残業など長労働時間が無く仕事も楽で職場の雰囲気も良い。しかし成長スキルアップが出来ず、自分が成長できない「ゆるブラック企業」が増え、これが若年層の退職理由となっています。就職する際「成長したい」「チャレンジしたい」という学生は必ず一定数おり、自分の成長が実現出来るかが判る企業なのかどうか重要なのです。つまり分子となる「得られるもの」が本当に自分が望んだものと実感出来るかが問題で、その「得られるもの」が小さければ分母の「努力」も小さくなります。分子の「得られるもの」が増えない中、若者が将来に不安を持ち、更



講演会風景

にSNSで同世代の活躍を見て嫉妬と自己嫌悪を感じ、ネガティブ・ループに入ってしまう。更に倍速で情報を得てもその解決策は出てこず、これが「不満」ではなく「不安」となるのです。労働時間の短縮などで「不満」の解消のため働き方改革を日本は進めてきました。それは間違っていないが、その奥の若者の「不安」の解消策を与え、寄り添ってきたでしょうか？働くことの意義をもう一度見つめ直し「我が社が社会と共に社会に貢献している」という実感を得られることが必要なのです。「従業員エンゲージメント」は「企業が目指す姿や方向性を従業員が理解・共感し、その達成に向けて自発的に貢献しようという意識を持っていること」で、そのために企業は目指す形や方向性を示し、従業員がそれを理解し、共感する必要があります。従来言われた「従業員満足」と何が違うかという、尺度が企業側にあるか従業員側にあるかということです。「従業員満足」は収益につながる事が多く、「彼らの満足」ではなく「会社にとって何が必要か」の観点からの接点を見出すことが重要で、従業員の理解度・共感度そして行動意欲が必要になります。

リカレント教育とリスキリングは新しい技術を身に付けるかアップデートするかの違いでありリスキリングを包含するのがリカレント教育と言え、私のリカレントセンターではレディメードとオーダーメードのプログラムを用意しています。

何が「人材育成」に必要な観点から各種のプログラムを用意し、20歳前後の若手だけでなく経営者層も対象としたプログラムを用意しております。各社の課題に応じて選んでいただければと思います。

今日のお話が人材育成と企業戦略を結びつける契機になればと思います。

(文責:事務局)

## 労務管理改善協力委員会(10月共通部会)

10月2日(水)プラザ洞津 2階「明日香の間」において、労務管理改善協力委員会10月共通部会を23名の参加者で開催しました。

内容については、少子高齢化に伴い、年々生産年齢人口が減少しており、企業経営においては2024年問題等による人手不足が様々な業界で生じ、大きな経営課題となっています。その為、多様な人材の活用、多様な働き方、DXの活用等各企業において対策を講じていますが、今後ますます人手不足が加速していく中においては、まずは既存の従業員の定着の為、職場環境整備等が必要不可欠です。これらを踏まえて、グリーンストック(株) 代表取締役 社会保険労務士 小田 隆 氏に従業員定着の為の職場環境整備について講演していただきました。また、後半は3グループに分かれ、「人手不足について各企業の対応と課題」についてグループワークを行いました。その中の意見で、「Uターン組の確保をしたいが都会の人は賃金が合わない」、「定着が課題」、「定期的な学校訪問で情報交換を密に行うことで企業のアピールや生徒の実情把握をすることで採用につなげる」等の意見が出ていました。



労管10月共通部会風景



講演する小田講師

### ◆プログラム

講演テーマ

第1部:「人手不足対応・定着セミナー」～従業員定着の為の職場環境整備～

講師:グリーンストック株式会社 代表取締役 社会保険労務士 小田 隆 氏

第2部:グループワーク

## ステップアップカフェファイナルイベント

～ 10年間の感謝をこめて～  
(障がい者ステップアップ推進運動贈呈式)



ファイナルイベント風景

12月18日(水)三重県総合文化センター フレンテみえ多目的ホールにて「ステップアップカフェファイナルイベント」～10年間の感謝をこめて～(障がい者ステップアップ推進運動贈呈式)を行いました。平成26年12月に、初代ステップアップカフェとして、Cotti菜、令和2年4月からだいたい食堂がオープンしました。開設時は、県内の障がい者雇用率が非常に低く、誰もが気軽に利用しやすいカフェで、接客を通じて、県民の皆様や企業の方々が「いきいきと働く障がい者の姿を身近に感じる場」としてオープンしました。その間、来店された方々は17万人を超え、7人の方が一般就労に移行し、5人の方が職場定着されています。



伊藤副代表(右)より一木さん(左)に贈呈

また、三重労使雇用支援機構を通じて行っています、「障がい者ステップアップ推進運動」で今回贈呈させていただいたのは、だいたい食堂で勤務されている一木梓さんと、副代表の伊藤 恵子 氏より贈呈していただきました。一木さんは、だいたい食堂に令和2年4月から今年の12月まで勤務され、令和7年1月から特定非営利活動法人あいあい採用されます。だいたい食堂として2人目にステップアップされた方であり、今回の一木さんで計7名の方々がステップアップカフェからステップアップしました。今後も継続的に支援を行ってまいります。

## 採用担当者情報交換会

### ～三重県「産・学」就職情報交流会～

12月4日(水)三重県庁講堂にて、「採用担当者情報交換会」～三重県「産・学」就職情報交流会～を、57事業所と12大学の89名の参加者で開催しました。

三重県では平成28年度から県内企業へのU・Iターン就職を支援するため、県内出身者の多い県外大学と就職支援協定を結んでおります。今回はその中の4校(大谷大学・神戸学院大学・愛知工業大学・金城学院大学)と、県内大学・短大を一堂に会して実施しました。県内企業が大学のキャリアセンターを訪問する機会が少ない中、県外大学及び県内大学のネットワークを構築する良い機会となりました。まず第1部では、名古屋経済大学 大黒 光一 氏に「今年度の就職活動の総括と次年度の予測」～学生は“いつ、どこにいるのか”早期化、多様化する就活～と題して講演していただきました。第2部のグループワークでは、あえてテーマは設けず、事業所の採用担当者同士が他の事業所に聞きたい事、採用・インターンシップ等で悩んでいる事等をフリーで話し合いました。ファシリテーターを(株)アドプランナー様と(株)O-GOE様にお願ひし、採用に関するトレンド等もお話ししていただきました。第3部の名刺・情報交換会では、12大学のキャリアセンター担当者及び基調講演していただいた名古屋経済大学様と事業所の採用担当者をグループに分け、大学の取り組みや現状の課題について話し、意見交換しました。各グループでは活発な意見交換となり、事業所としては普段なかなか大学の取り組みや課題等を聞く機会がない中で、意見交換できたのは有意義でありました。最後にフリーでの名刺・情報交換会となり、各大学のブースには長蛇の列ができ、終了予定時間間際まで行われました。参加事業所から、第2部では、「普段聞けない採用担当の方の悩みを知ることができた」、「学生側が参加したいと思うインターンシッププログラムの具体例等を知ることができた」、第3部では「大学と直接意見交換ができて良かった」等の意見でありました。

また、参加大学からは、「予想以上の参加事業所数で、多くの事業所と名刺交換でき非常に良かった」、「大学のキャリアセンターの状況が話せて良かった」との意見でありました。

#### ■内容

第1部：講演：「今年度の就職活動の総括と次年度の予測」

～学生は“いつ、どこにいるのか”早期化、多様化する就活～

講師：名古屋経済大学 経済学部教授兼キャリアセンター長 大黒 光一 氏

第2部：採用担当者同士によるグループディスカッション

第3部：(1)名刺・情報交換会(大学とのグループディスカッション)

(2)フリーでの名刺・情報交換会



講演する大黒講師



第2部グループワーク風景



第3部大学とのグループディスカッション風景



第3部名刺・情報交換会風景

## 中部経協三県連携事業

## 階層別研修第2回「部下育成講座」

## ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～

11月25日(月) プラザ洞津 2階「明日香の間」において、階層別研修第2回「部下育成講座」を16名で開催しました。

講師は前回に引き続き(株)ヒューマンブレインアソシエイツ取締役会長 稲垣 正己 氏をお迎えし、前回の振り返り(特に自分のタイプ、パラダイムチェンジ)を行いました。その後、「あなたは、人の話を聴いていますか?」として傾聴テストを行い、管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか確認しました。更に、自分自身、自己主張が強い方かを確認し、人の話を聴く時にどのような聴き方をしているかを診断、また、部下の状況把握を行い、実際にOJTを進めていく為の教え方や部下を上手に叱っているか?褒めているか?をグループ内で共有し、実際に部下育成計画を立てながらグループで討議を行いました。



講義風景

## ■主なプログラム

- ・ 管理者として部下の・後輩の話を本当に聴いているか(傾聴テスト)
- ・ 納得のコミュニケーションサイクル
- ・ コミュニケーションスタイル
- ・ OJTの基本姿勢
- ・ 部下状況把握
- ・ 部下育成計画書作成



講義する稲垣講師

## 新入社員フォロー研修第2回「社会人基礎力を身につける」

12月13日(金) アスト津 5階「ギャラリー1」において、新入社員フォロー研修第2回「社会人基礎力を身につける」を参加者 35名で開催しました。

講師は前回に引き続き(株)ソ・ラボ 代表取締役の山田 将史 氏をお迎えし、最初に、2人ずつ向かい合い、後だしジャンケンウォーミングアップを行いました。次に、前回研修後に参加者に取り組むように依頼した日々の「行動チェック表」、「感謝の気持ち」について、本日まで実際に取り組んだかをグループで共有し、振り返りを行いました。



研修風景

続いてペアコミュニケーションとして2人ずつ向かい合い、傾聴トレーニングを行いながら、発信力について講義が行われました。後半は、グループに分かれてゲームを2つ行いました。まずは、ある大学で毎年、春の文化祭で開催されるゲームで、「大学から1つのクラブ・同好会に100万円が支給され、10のクラブ・同好会の各代表が集まって、予算を獲得する」というもので、発信力・傾聴力・柔軟性を鍛えるゲームです。次のゲームは各グループが不動産会社となり、社長等役割を決めて、他のグループと交渉・駆け引きなど知恵を戦わせていく体験ゲームです。

ゲームの大きな目的は、①目的を共有する②相手の「心情」を具体的に伝える③相手の話を聴き、理解しようとする姿勢④部分最適でなく、全体最適で考える、この4つとなっております。皆さん入社から約8ヶ月が経過し、初回の表情とは違い、社会人らしさが出ておりました。また、前回とグループ分けを変えて行っているため、新しいメンバーで、お互い真剣に自分の意見を発信していました。

## ■研修の目的

- ①7ヶ月の振り返り ②シンキング(課題発見力、計画力、創造力)

**ルール** ・礼儀礼節を守る ・時間厳守 ・反応する(聴く、姿勢)

**今日を素晴らしい1日にするために**

- ・積極的に!「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること!
- ・メモをする ・シェア(共有)する



講義する山田講師

## 第24回三重県経営者協会会員親睦コンペ

11月6日(水)松阪カントリークラブにおいて、第24回三重県経営者協会会員親睦コンペが絶好のゴルフ日和の中、開催されました。11名(OUT3組)が参加され、熱戦の結果、優勝者は松月 久典 氏(三重テレビ放送(株) エキスパート)に決まり、田中専務より優勝賞品が授与されました。

初参加の方も見え、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。



経協コンペ参加者集合写真



優勝賞品を田中専務(右)より授与される松月氏(左)

### 【順位表】

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	NET
優勝	松月 久典	三重テレビ放送(株) エキスパート	62	36.8
準優勝	栗須 百合香	三重工熱(株) 代表取締役社長	54	38.4
第3位	山口 茂子	(株)山口商会 専務取締役	53	38.6
第4位	金森 美智子	こくみん共済coop 三重推進本部 本部長	65	39.6
第5位	松谷 宏明	楠井法律事務所 事務局長	48	39.8

※同スコアの場合、年長者を上位とする。

## 年末調整実務セミナー

11月12日(火) 三重県総合文化センター 生涯学習センター 中研修室において、「年末調整実務セミナー」(年末調整と定額減税について)を開催しました。当日は34名の参加があり、講師は今井税理士事務所の税理士 今井富久翁所長及び今井 隆文副所長より講義が行われました。最初に今井所長から定額減税について説明されました。定額減税についての概要、対象となる人、対象者の確認等の説明が行われました。その後、今井副所長より年末調整とは何かを説明され、特に各種控除について詳しく説明があり、手順と例に基づいて実際に計算が行われました。今年は例年と違い、定額減税が行われた関係で通常とは異なる年末調整となりました。最後に個別での質問時間を設け、皆さんから質問が多数出ていました。



講演する今井所長(左) 今井副所長(右)



年末調整実務セミナー風景

## 高年齢者雇用に関する事業所向けセミナー・働きやすい職場づくりセミナー

高年齢者雇用に関する事業所向けセミナー・働きやすい職場づくりセミナーを下記の内容で開催しました。  
 ※三重県より三重労使雇用支援機構が令和6年度高年齢者及び事業所向けセミナー事業の開催を受託し、セミナーを運営しております。

### ■開催内容

日時及び開催場所	プログラム
11月14日(木) 13:30～15:45 三重県松阪庁舎 6階「大会議室」 参加人数：29名	第1部 講演：「更なる働き方改革を進める為のエンゲージメント向上とは」 ～労働生産性向上と従業員の定着と離職防止～ 講師：社会保険労務士オフィス達喜 代表 特定社会保険労務士 菊地 達喜氏  第2部 「高年齢者 生涯現役促進活躍に向けた就労関係事例集」 (三重県生涯現役促進地域連携協議会作成) 講師：三重労使雇用支援機構  第3部 講演：「企業の未来を拓く！三重から始める働き方改革」 ～若者視点の越境と共創～ 講師：ギャップで学習ナビゲーター 代表 奥山 夢菜氏 ※三重県働き方改革取組発信事業 ※(株)タスクール Plus 三重営業所と共同運営



講演する菊地講師



講演する奥山講師



三重県松阪庁舎風景

## 再就職支援セミナー

高齢者雇用に関する再就職支援セミナーを下記の内容で開催しました。

※三重県より三重労使雇用支援機構が令和6年度高齢者及び事業所向けセミナー事業の開催を受託し、セミナーを運営しております。

### 開催内容

日時及び開催場所	プログラム
10月30日(水) 13:30～16:00 三重県松阪庁舎 6階「大会議室」 参加人数：71名	第1部：「シニア世代のライフプランについて」 講師：グッドライフ設計塾 代表 菅田 芳恵氏 (特定社会保険労務士・1級FP技能士)  第2部：個別職業相談会 ハローワーク松阪 (公財) 産業雇用安定センター三重事務所
11月20日(水) 13:30～16:00 三重県四日市庁舎 6階「大会議室」 参加人数：52名	第1部：「シニア世代のライフプランについて」 講師：グッドライフ設計塾 代表 菅田 芳恵氏 (特定社会保険労務士・1級FP技能士)  第2部 「高齢者雇用に取り組んでいる事業所による事例」 「医療・福祉業界」 医療法人博仁会 村瀬病院グループ  第3部：個別職業相談会 ハローワーク四日市
12月16日(月) 13:30～15:00 三重県尾鷲庁舎 5階「大会議室」 参加人数：14名	第1部：「セカンドライフのデザイン」 ～自分らしく生きる、自分らしく働く～ 講師：キャリアコンサルタント 西村 佳美氏



講演する菅田講師  
(松阪庁舎)



講演する菅田講師  
(四日市庁舎)



業界研究  
(村瀬病院グループ)



講演する西村講師



三重県松阪庁舎風景



三重県四日市庁舎風景



三重県尾鷲庁舎風景

# 三重県内の最低賃金

三重県最低賃金 時間額 **1,023円**  
(令和6年10月1日発効)

「三重県最低賃金」は、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。臨時・パート・アルバイトなど雇用形態や年齢を問いません。

なお、特定の産業に該当する事業場で働く労働者には、下表の「特定(産業別)最低賃金」が適用されます。ただし、次の労働者は、「三重県最低賃金」が適用されます。

- ①18歳未満又は65歳以上の者
  - ②雇入れ後3月未満(「電線・ケーブル製造業」は6月未満)の者であって、技能習得中のもの
  - ③主として清掃又は片付け等軽易業務に従事する者
- ※派遣労働者については、派遣元の地域別又は特定(産業別)最低賃金が適用されます。

特定(産業別)最低賃金		効力発生日	
三重県電線・ケーブル製造業最低賃金	時間額	<b>1,033円</b>	令和6年12月21日
三重県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	時間額	<b>1,031円</b>	令和6年12月21日
三重県建設機械・鉱山機械製造業、自動車・同附属品製造業、船舶製造・修理業、船用機関製造業、産業用運搬車両・同部品・附属品製造業、その他の輸送用機械器具製造業最低賃金	時間額	<b>1,047円</b>	令和6年12月21日

※三重県最低賃金と特定(産業別)最低賃金の両方の最低賃金が同時に適用される場合には、高い方の最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。従って、「三重県鋳鉄・鋼物、可鍛鉄、鋳鉄管製造業最低賃金(時間額739円、日額5,907円、平成10年12月15日発効)」、「三重県一般機械器具製造業最低賃金(時間額762円、平成15年12月15日発効)」、「三重県洋食器・刃物・手道具・金物類製造業最低賃金(時間額843円、平成27年12月20日発効)」、「三重県ガラス・同製品製造業最低賃金(時間額923円、令和3年12月21日発効)」が適用される労働者については、三重県最低賃金の金額以上の賃金を支払わなければなりません。

三重労働局労働基準部賃金室 TEL 059-226-2108

## 三重県内の労働災害発生状況

令和6年11月末速報値

	死亡者数			休業4日以上之死傷者数			
	令和5年	令和6年	対前年比	令和5年	令和6年	対前年比	
	11月末		人	11月末		人	%
<b>全産業</b>	<b>8</b>	<b>12</b>	<b>+4</b>	<b>1,875</b>	<b>1,953</b>	<b>+78</b>	<b>+4.2</b>
製造業	1	4	+3	497	491	-6	-1.2
鉱業	0	0	0	5	4	-1	-20.0
建設業	2	4	+2	225	210	-15	-6.7
道路貨物運送業	1	1	0	199	204	+5	+2.5
林業	1	1	0	22	26	+4	+18.2
小売業	0	0	0	231	261	+30	+13.0
社会福祉施設	0	0	0	157	215	+58	+36.9
上記以外の産業	3	2	-1	539	542	+3	+0.6

製造業内訳	死亡者数			休業4日以上之死傷者数			
	令和5年	令和6年	対前年比	令和5年	令和6年	対前年比	
	11月末		人	11月末		人	%
食料品	1	0	-1	122	111	-11	-9.0
木材・木製品	0	0	0	22	15	-7	-31.8
化学工業	0	0	0	38	55	+17	+44.7
窯業土石製品	0	1	+1	42	31	-11	-26.2
金属製品	0	1	+1	66	79	+13	+19.7
一般機械	0	0	0	47	25	-22	-46.8
電気機械器具	0	0	0	31	19	-12	-38.7
輸送用機械	0	1	+1	45	60	+15	+33.3
上記以外の製造業	0	1	+1	84	96	+12	+14.3

資料出所：三重労働局「死亡災害速報」及び「労働者死傷病報告」(新型コロナウイルス感染症を除く)

## 年間安全衛生管理計画の作成について

事業場の安全衛生を確保するためには、労働安全衛生法令の遵守はもとより、事業場の自主的な安全衛生活動を継続的、かつ、計画的に実施することが必須となります。

また、事業場の安全衛生水準を向上させるためには、前年(度)に取り組んだ安全衛生活動を検証し、その結果を次年(度)の安全衛生活動に反映することが求められます。

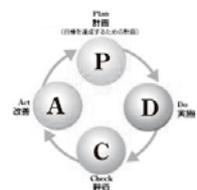
三重労働局ホームページ

([https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/hourei\\_seido\\_tetsuzuki/anzen\\_eisei.html#4\\_9](https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei.html#4_9))に

「令和7年(度)安全衛生管理計画及び実施結果報告書」を記載しておりますのでご活用をお願いします。

※50人以上の製造業(一部業種10人以上)・第三次産業(一部業種30人以上)など一定の事業場には、管轄労働基準監督署長から同報告書を送付の上、年間安全衛生管理計画の作成及び提出を依頼します。

年間安全衛生管理計画を作成し、『PDCAサイクル』により、安全衛生活動を推進しましょう。



三重労働局労働基準部健康安全課 TEL 059-226-2107



三重県経営者協会

- 会長 小倉敏秀
- 副会長 小川謙
- 副会長 伊藤恵子
- 副会長 田山雅敏
- 副会長 木本啓輔
- 副会長 伊藤正明
- 副会長 舟橋純
- 副会長 西田義明

(50音順)

<p>株式会社   R&amp;E コンサルタント                      経営コンサルタント                      (経営・労務・人材育成・地域活性化・成長戦略)                      代表取締役 小林吉光</p>	<p>モノづくりをもっと面白く </p> <p> 旭ダイヤモンド工業株式会社                      三重工場</p>
<p>イメージ クリエイト                      想像を創造する                      各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、                      皆様の情報発信のお手伝いをいたします。</p> <p> 株式会社 アイブレーン                      TEL 0596-27-1111(代) 代表取締役 楠木 裕子</p>	<p>旭鍍金株式会社                      代表取締役社長 中山 敏                      TEL 059-234-9555</p>
<p>株式会社 <b>赤福</b>                      代表取締役社長 濱田 朋恵</p>	<p>名産松阪肉 朝日屋                      代表取締役社長 香田佳永                      津市北丸之内20 TEL 059-226-2983</p>
<p>一般社団法人 あさあけ                      代表理事 野 浪 隆                      理 事 伊 藤 正 彦                      TEL 059-253-1865</p>	<p>フィッシング遊・FLD </p> <p>アサヒレジャー株式会社                      代表取締役社長 上野 精一</p>
<p>Asahi Language Academy                      18ヶ国語(中部関東40拠点、オンライン講座 全国/世界配信)、企業内研修                      外国人材派遣(技能実習・特定技能)、医療ビジネス、インバウンドツーリズム</p> <p>株式会社 アサヒ外語学院                      代表取締役社長 高木 暢子                      ☎0120-86-8748</p>	<p>企業の障がい者雇用支援をします!                      株式会社アルファプランニング                      ワクスぺみえ </p> <p>営業担当 小木曾政史                      TEL 059-390-2005                      障がい者のテレワーク拠点                      ワクスぺみえ</p>

<p><b>アミカン株式会社</b> <b>東洋工業株式会社</b> 代表取締役会長 伊藤 勘作</p>	<p> 株式会社 O-GOE 代表取締役 杉山 豊 TEL 059-361-0005</p>
<p> <b>伊勢新聞社</b> 代表取締役社長 小林 千三</p>	<p>創業41年 ~ありがとうございます~ ~まごころこめて~製造・物流サポートします  <b>オ-ユ-セス株式会社</b> 代表取締役社長 木下 隆生</p>
<p> <b>伊勢赤十字病院</b> 院長 楠田 司</p>	<p><b>岡三証券 株式会社</b> 執行役員・岡三みえ証券カンパニー 副カンパニー長 山口 富太郎 TEL 059-222-1818</p>
<p> <b>一号館</b> FOOD MARKET Ichigōkan 代表取締役 佐藤 洋一郎</p>	<p>冷凍/空調/電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の <b>有限会社 奥田冷機</b> 取締役会長 奥田 幸広</p>
<p>ISO27001情報管理国際認証取得  <b>伊藤印刷株式会社</b> 総合印刷・出版 代表取締役 伊藤 誠司</p>	<p>人材育成に貢献します。 <b>社会保険労務士オフィスはしもと</b> TEL 0594-87-5112</p>
<p><b>今村会計事務所</b> 所長・税理士 今村 元宣</p>	<p><b>株式会社 おやつカンパニー</b> 代表取締役社長 横山 正志</p>
<p>人を取り巻く全ての予防衛生を支援します <b>株式会社 イムテス</b> 代表取締役 山口 久美</p>	<p><b>キオクシア株式会社</b> 四日市工場長 清水 和裕</p>
<p>おいしい!の笑顔をつくる  <b>井村屋グループ</b> 代表取締役会長(CEO) 中島 伸子</p>	<p> ふれあい・たいせつに <b>きゅう-とら</b> 代表取締役 清水 秀隆</p>

 <p>株式会社近鉄・都ホテルズ 志摩観光ホテル 執行役員総支配人 平田 芳久</p>	<p>～東京・静岡・愛知・三重・京都・大阪に全15店舗～</p>  <p><b>株式会社 三交イン</b> 代表取締役社長 村田 陽子</p>
<p><b>都ホテル 四日市</b> 株式会社近鉄・都ホテルズ 総支配人 中川 善雄</p>	<p>安全・安心・快適 <b>株式会社 三交タクシー</b> 代表取締役社長 中林 広已</p>
 <p><b>農業屋</b> <b>クラギ株式会社</b> 代表取締役 竹内 秀樹</p>	 <p>株式会社三交ドライビングスクール <b>四日市自動車学校</b> <b>名四自動車学校</b> 取締役社長 橋本 明雄</p>
<p><b>栗田石油 株式会社</b> 代表取締役 栗田 明</p>	 <p><b>三交不動産株式会社</b> 代表取締役社長 中村 充孝</p>
 <p>学校法人 <b>皇學館</b> 皇學館大学・皇學館高等学校・皇學館中学校 理事長 小串 和夫</p>	<p>津から世界の海へ！ あなたと共に 夢と感動を創る造船所</p>  <p>JMU ジャパン マリンユナイテッド 株式会社 津事業所 常務執行役員 所長 朝戸 毅</p>
 <p><b>プラザ洞津</b> 公立学校共済組合津宿泊所 支配人 西尾 雅二 TEL：059-227-3291</p>	 <p>響いてこそ技術 <b>SINFONIA</b> シンフォニアテクノロジー株式会社 執行役員 伊勢製作所長 齋藤 浩志</p>
<p><b>御在所</b> GOZAISHO ROPEWAY <b>ロープウェイ</b> 取締役社長 中村 俊行</p>	<p>天保十一年創業</p>  <p>有限会社 すかや呉服店 ◆本店 (0598) 39-8111 ◆伊勢店 きもの日和 あやの 伊勢内宮前 おかげ横丁 (0596) 26-1177</p>
<p><b>名阪関ドライブイン</b> <b>三交興業株式会社</b> 取締役社長 北角 亘</p>	 <p>SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE <b>鈴鹿医療科学大学</b> 理事長 高木 純一 学長 豊田 長康</p>

 <p>学校法人 享栄学園 <b>鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部</b> 理事長 箕輪田 晃 学長 水谷 明弘</p>	<p>〒514-0019 三重県津市住吉町1番10号 <b>株式会社 津市環境公社</b> 代表取締役 原 田 浩 伸</p>
 <p><b>住友電装株式会社</b> 代表取締役執行役員社長 漆 畑 憲 一</p>	<p>感動空間創造企業  <b>株式会社 辻工務店</b> <a href="http://www.tsujikoumuten.co.jp">http://www.tsujikoumuten.co.jp</a> 代表取締役社長 吉田 安寿</p>
<p><b>株式会社 ZTV</b> 取締役社長 田 村 欣 也</p>	<p>未来へつなぐ津商工会議所～魅力あふれる津市へ!!  <b>津商工会議所</b> 会 頭 伊 藤 歳 恭</p>
<p>南部自動車学校グループ 共感警備の <b>(株)セフティージャパン</b> 代表取締役社長 加 藤 有 翔</p>	<p>あしたか すてきに!  <b>TOHO GAS</b> <b>東邦ガス株式会社</b> 三重地域支配人 鈴 木 賢 一</p>
<p>人の心に、街のまん中に、明るさをずっと。  <b>株式会社 扇 港 電 機</b> 代表取締役社長 横 山 大 幸</p>	<p>中部電力グループ おかげさまで<b>80周年</b> <b>80 トーエネック</b> 執行役員三重支店長 松 山 孝 臣</p>
<p><b>Taisei</b> Holdings Co., Ltd. 共育ちの精神で地域社会の課題解決をお手伝い 代表取締役社長 今 村 太 一 TEL 059-253-8558 FAX 059-228-9379</p>	<p> 湯めぐり海百景 <b>鳥羽シーサイドホテル</b> 代表取締役社長 藪 本 竜 太 郎</p>
<p>医薬のチカラで、笑顔を。  <b>中外医薬生産株式会社</b> 代表取締役会長 田 山 雅 敏</p>	<p><b>ナガシマリゾート</b> <b>長島観光開発株式会社</b> 取締役社長 舟 橋 純</p>
<p>感激・感動・成長をキーワードに 100年企業を目指す <b>株式会社 中勢ゴム</b> 代表取締役社長 武 藤 成 洋</p>	<p><b>中辻医科器械株式会社</b> 代表取締役 三 宅 努</p>

 <p><b>NTT西日本</b> あしたへ—with you, with ICT. 三重支店長 佐藤麻希</p>	<p><b>はなふさ</b> 料亭・和れすとらん http://www.mie-hanafusa.co.jp</p>
<p>エネルギーのこと 環境のこと ご一緒に考えてみませんか！</p>  <p><b>21世紀のエネルギーを考える会・みえ</b> 会長 小川謙</p>	 <p><b>百五銀行</b> 取締役頭取 杉浦雅和 FRONTIER BANKING</p>
<p><b>日本土建株式会社</b> 代表取締役社長 田村頼一 TEL 059-229-5700</p>	<p><b>インタルのマツオカ建機</b> マツオカ建機株式会社 代表取締役社長 松岡賢 Tel:0120-502-847</p> 
<p>物流と人のハーモニー</p>  <p><b>日本トランスシティ株式会社</b> 取締役 小川謙</p>	 <p><b>松阪カントリークラブ</b> 代表取締役社長 田島誉之 TEL:0598-29-2911</p>
<p><b>ネットヨタ三重株式会社</b> 代表取締役社長 平野真也</p>	<p>ものづくりに携わり、100年</p>  <p><b>MCC CORPORATION</b> 株式会社 松阪鉄工所 代表取締役社長 加藤賢治</p>
<p><b>野村證券株式会社</b> 津支店 支店長 高柳寛人</p>	<p><b>ISUZU</b> <b>三重いすゞ自動車株式会社</b> 代表取締役社長 西田義明</p>
<p><b>パーソルテンプスタッフ株式会社</b> 代表取締役社長 木村和成 TEL:059-213-7800</p>	<p>〈昭35.10.開場〉</p>  <p>株式会社 <b>三重カントリークラブ</b> 取締役社長 尾張雅史</p>
<p>人と企業を誠意で結びます</p> <p>株式会社 <b>パソピア</b> 代表取締役 中田将司 TEL 059-213-6733</p>	<p>「三重から世界へ」!! 信頼される製品づくりに努めています。</p> <p><b>三重金属工業株式会社</b> 代表取締役社長 西村圭司</p>

<p><b>三重県観光開発株式会社</b></p> <p>取締役社長 榎山 雅史</p>	 <p><b>三重トヨペット株式会社</b> Be the First.</p> <p>代表取締役会長 川喜田 久 代表取締役社長 井上 喜晴 TEL 059-227-7171(代表)</p>
<p>がんばる企業を応援します。</p>  <p><b>三重県信用保証協会</b></p> <p>会長 稲垣 清文</p>	<p>相談無料 事業主を支援します！</p> <p><b>三重働き方改革推進支援センター</b></p> <p>センター長 岡本 乾 TEL 0120-111-417</p>
<p>安全で快適な暮らしをサポート</p>  <p><b>三重交通コミュニティ株式会社</b></p> <p>取締役社長 川村 則之 TEL:059-253-4051</p>	<p><b>名阪近鉄バス株式会社</b></p> <p>取締役社長 谷口 弘幸</p> <p>観光バス営業部三重支店 TEL:059-346-1722</p>
 <p><b>三重交通株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 田端 英明</p>	<p><b>安田小児科内科</b></p> <p>病児・病後児・預り保育「ミー」併設</p> <p>理事長 安田 尚樹 TEL:0598-28-8828</p>
 <p><b>三重交通商事株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 豊永 久</p>	 <p><b>株式会社 安永</b></p> <p>Yasunaga 代表取締役社長 安永 暁俊</p>
<p>三重の力を世界へ 世界から三重へ 未来を拓く 地域共創大学</p>  <p>国立大学法人 <b>三重大学</b></p> <p>学長 伊藤 正明</p>	<p>消防防災で安全安心を創る</p> <p><b>株式会社 山口商会</b></p> <p>取締役会長 山口 久彦</p>
<p><b>三重テレビ放送株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 山口 貢</p> <p>TEL:059-226-1133</p>	<p>社会と企業が求める人材を育成する</p> <p>学校法人 暁学園</p> <p><b>四日市大学</b></p> <p>理事長 喜岡 渉 学長</p>
<p>三重トヨタ自動車株式会社</p> <p><b>TOYOTOWN 三重トヨタ</b></p> <p>代表取締役社長 竹林 憲明</p>	<p><b>三重県経営者協会</b></p> <p>職員一同</p>



## 新会員の紹介

### 有限会社 すかや呉服店

事業内容 呉服小売業  
 代表者 代表取締役 綾野 寿昭  
 所在地 多気郡多気町仁田645-1  
 電話 0598-39-8111  
 F A X 0598-37-2343  
 ホームページ <https://sukayagohukuten.wixsite.com/webshop>



### 有限会社 観光旅館 福寿荘

事業内容 旅館業  
 代表者 代表取締役 木村 圭仁朗  
 所在地 志摩市磯部町渡鹿野517  
 電話 0599-57-2711  
 F A X 0599-57-2211  
 ホームページ <https://www.fukujyuso.co.jp/>



## 新規会員のご紹介を お願いします



三重県経営者協会は  
 (一社)日本経済団体  
 連合会の地方組織とし  
 て、県内企業の発展と  
 地域社会に貢献し、グ  
 ローバルな時代に対応  
 した会員へのサービスの  
 向上を行っております。

今年度も当協会の一層の発展のために、組織の  
 拡大を目指しておりますので、ご入会いただける  
 企業等のご紹介を会員皆様をお願い致します。

ご一報いただきましたら速やかに訪問し、ご説  
 明をさせていただきます。

担当：事務局次長 中村 和仁  
 電話(059-228-3557・3679)  
 E-mail [info@miekeikyo.jp](mailto:info@miekeikyo.jp)

## れんらく・つうしん

### 当協会事務所ビル名変更の お知らせについて

昨年11月より下記のとおりビル  
 名が変更となりましたのでご案内申  
 上げます。

尚、住所・階数・電話番号等に変更  
 はございません。封筒・HP等は随時変  
 更して参りますのでご了承願います。

変更後 **丸之内三重ビル3階**

変更前 **森永三重ビル3階**

## れんらく・つうしん

育児や  
介護にも

## 令和6年度

..... **働きやすい職場づくり応援セミナーご案内** .....  
 ~不妊治療と仕事の両立支援に向けて~

育児・介護や不妊治療などと両立しながら、誰もが希望どおりの働き方を  
 実現できる職場づくりのポイントを学んでみませんか？

**参加費  
無料**

1. 日 時 令和7年2月26日(水) 13:30～15:30

2. 開催方法 ZOOMによるオンライン

3. 申込・お問い合わせ先

三重県子ども・福祉部 子供の育ち支援課 母子保健班

TEL 059-224-2248 FAX 059-224-2270

4. 内 容 第1部 13:30～13:50 社内における働き方改革の取組について

講師：株式会社百五銀行 調査役 林 由美子 氏

(令和5年度「みえの働き方改革推進企業」グッドプラクティス賞受賞)

第2部 13:50～15:10 不妊治療と仕事の両立支援について

①「知っておきたい不妊治療の基礎知識と当事者が感じるストレス」

講師：不妊症看護認定看護師 長谷 充子 氏

②「不妊治療とキャリアの共存へ～企業ができる支援策と職場づくり～」

講師：三重働き方改革推進支援センター専門家、特定社会保険労務士

菊池 たつき 氏

第3部 15:10～15:30 イクボスの推進について

講師：三重県子ども・福祉部少子化対策課

参加された方は  
不妊症サポーターに  
認定！

..... **人事・採用担当者勉強会ご案内** .....  
 .....

日 時 令和7年2月20日(木) 13:30～15:30

会 場 ハローワーク津 2階「会議室」

津市島崎町327-1 TEL 059-228-9161

第1部 「人手不足時代の人財獲得対応について」～ハローワークの有効活用～

- ・人手不足に関する現状と見通しについて
- ・ハローワークお勧め理由と新たなシステムについて
- ・求職者が重視している求人票の項目は？
- ・求職者が応募したくなる求人票の書き方とは？

講 師 (株)O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏

第2部 「ハローワークの現状と活用方法について」

講 師 三重労働局職業安定部

参加費 労管会員無料

労管会員外 1名につき3,000円

会員外 1名につき6,000円

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

# ～失業なき労働移動の実現をめざす 再就職・出向の専門機関～

雇用調整等のニーズのある **1** 企業様（送出）と  
雇い入れご希望の **2** 企業様（受入）との間で  
人材マッチングサービスを**無料**で提供しています。



 公益財団法人 産業雇用安定センター 三重事務所

TEL 059-225-5449 FAX 059-221-6197

www.sangyokoyo.or.jp/



業務日誌 2024.10.12

事業名	とき	ところ
労務管理改善協力委員会 10月共通部会	10/ 2(水)	プラザ洞津
10月度理事会及び特別講演会	10/25(金)	プラザ洞津
三重県受託事業 高齢者及び事業所向けセミナー事業 令和6年度生涯現役促進地域連携事業 高齢者再就職のための再就職支援セミナー	10/30(水)	三重県松阪庁舎
	11/20(水)	三重県四日市庁舎
	12/16(月)	三重県尾鷲庁舎
第24回三重県経営者協会会員親睦コンベ	11/ 6(水)	松阪カントリークラブ
年末調整実務セミナー	11/12(火)	三重県総合文化センター
三重県受託事業 高齢者及び事業所向けセミナー事業 令和6年度生涯現役促進地域連携事業 高齢者雇用に関する事業所向けセミナー	11/14(木)	三重県松阪庁舎 & WEB
中部経協三県連携事業 階層別研修第2回「部下育成講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～	11/25(月)	プラザ洞津
採用担当者情報交換会～三重県「産・学」就職情報交流会～	12/ 4(水)	三重県庁
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第2回「社会人基礎力を身につける」	12/13(金)	アスト津
ステップアップカフェファイナルイベント	12/18(水)	三重県総合文化センター



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557 FAX 059-228-3710

ホームページ <http://miekeikyo.jp>

E-mail [info@miekeikyo.jp](mailto:info@miekeikyo.jp)

2025年1月25日 発行  
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1丸之内三重ビル3F